

## はじめに



西宮市長  
石井登志郎

私は平成30年（2018年）4月に西宮市長に就任して以来、市民の皆さんが抱えている課題やニーズを的確にとらえて、市政に反映することが重要であると考え、市民の声がより届きやすい行政づくりを念頭に置きながら、市政運営に当たってきました。

西宮市は、従来から、市政に関するご提案、ご意見等をお寄せいただく「市民の声」制度を実施しておりますが、今年度から新たなツールとして「市長への手紙」投函箱を各支所等、9か所に設置し、より「市民の声」をお寄せいただきやすいようにしました。また、市民の皆さんから直接、ご意見をお聴きすることも重要であると考え、各地域で誰もが参加しやすい市政報告・広聴会を実施するなど積極的に取り組んでまいりました。

昭和29年から継続して実施しておりますこの「市民意識調査」につきましては、今回より調査対象年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げ、幅広くご意見をお聴きしております。当調査につきましても、市政に対する意識を把握するための重要な広聴事業と考えています。

今年度は「市民の防災意識」「シティプロモーション」「大学のまち」「障害のある人に対する理解」の4テーマについて調査を実施しました。

ここにまとめました調査結果から、例えば「市民の防災意識」では、災害情報の取り方における世代間での手法の差違、「シティプロモーション」では、市サイトの認知度の低さが示されたことは残念ではあるものの、市民の情報に対する関心ごとの傾向が把握できました。

また、「大学のまち」では、大学で行われる講座・セミナーへの関心や、参加にあたっての障壁、「障害のある人に対する理解」では、差別や偏見を感じる場面や手助けをするにあたっての理由などの傾向が把握できました。

その他自由意見としていただいたものも含め、大変参考になる貴重なデータを得ることができましたので、この調査結果から、皆さんの意識・ニーズを的確に把握し、市民満足度の高い行政運営を進めてまいります。

平成31年2月